



令和4年度 「全国学力・学習状況調査」 三股町の結果について



本調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象とした教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査です。今回の調査によって測定できることは、学校における教育活動の一部ではありますが、結果を真摯に受け止め、今後の指導に生かしていくことが大切であると考えています。

三股町教育委員会といたしましては、この結果を分析し、児童生徒の学力や生活習慣の向上に向け、取組の重点を定め、各学校の実態に応じて支援を行ってまいります。

また、児童生徒の健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が必要不可欠ですので、今後とも各学校へのご理解とご協力をお願いいたします。



1 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の概要について

○ 実施日

令和4年4月19日（火）

○ 対象

小学校第6学年（293名）及び中学校第3学年（207名）

○ 目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 出題内容

（1）教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

2 結果の表記について

各教科や児童生徒質問紙等の結果については、県や国の平均正答率をもとに以下を基準として表記しています。

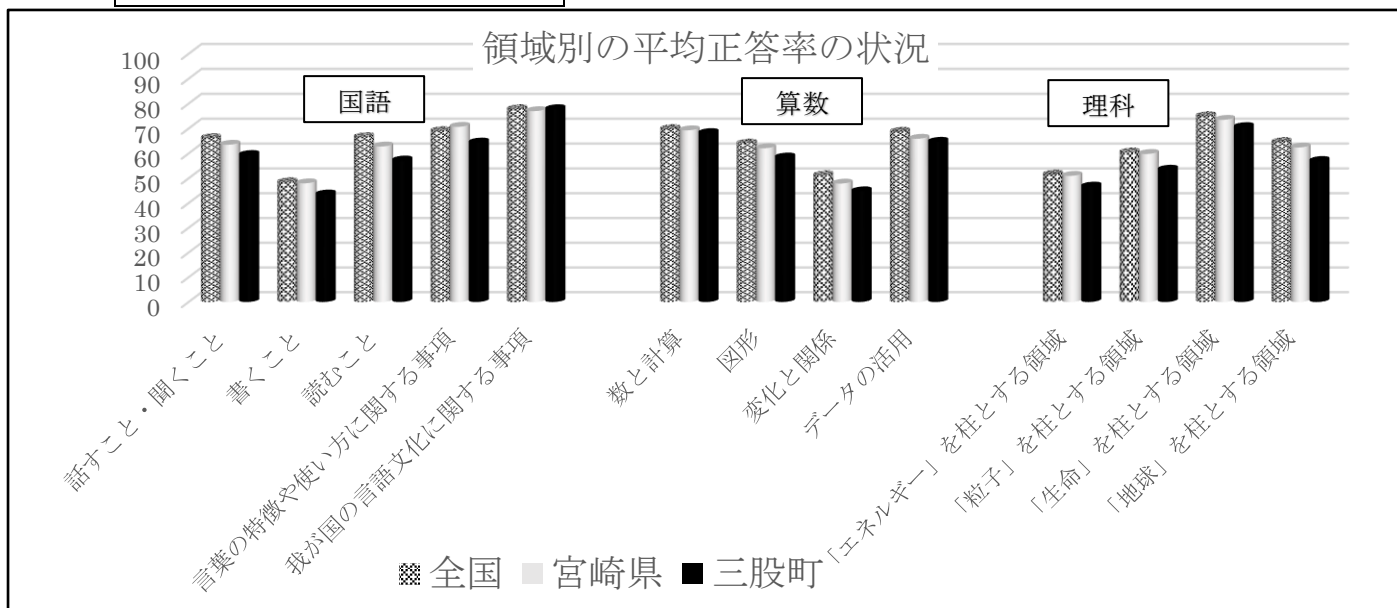
同程度	平均との差が±1未満
ほぼ同程度	平均との差が±1～3未満
やや高い（低い）	平均との差が±3～5未満
高い（低い）	平均との差が±5～7未満
相当高い（低い）	平均との差が±7以上



■ 本町の結果概要

(1) 小学校

ア 教科に関する調査の結果



■ 3教科の平均正答率は、全国より低く、県よりやや低い結果です。

○ 国語の正答率については、全国及び県より低い結果です。

- ・ 「話すこと・聞くこと」は、全国より低く、県よりやや低い。
- ・ 「書くこと」は、全国及び県よりやや低い。
- ・ 「読むこと」は、全国及び県より低い。
- ・ 「言葉の特徴や使い方」は、全国よりやや低く、県より低い。
- ・ 「我が国の言語文化」は、全国及び県と同程度。

○ 算数の正答率については、全国よりやや低く、県とほぼ同程度の結果です。

- ・ 「数と計算」は、全国及び県とほぼ同程度。
- ・ 「図形」及び「変化と関係」は、全国より低く、県よりやや低い。
- ・ 「データの活用」は、全国よりやや低く、県とほぼ同程度。

○ 理科の正答率については、全国及び県より低い結果です。

- ・ 「エネルギー」は、全国及び県よりやや低い。
- ・ 「粒子」は、全国及び県より低い。
- ・ 「生命」は、全国よりやや低く、県とほぼ同程度。
- ・ 「地球」は、全国より相当低く、県より低い。

イ 児童質問紙の結果

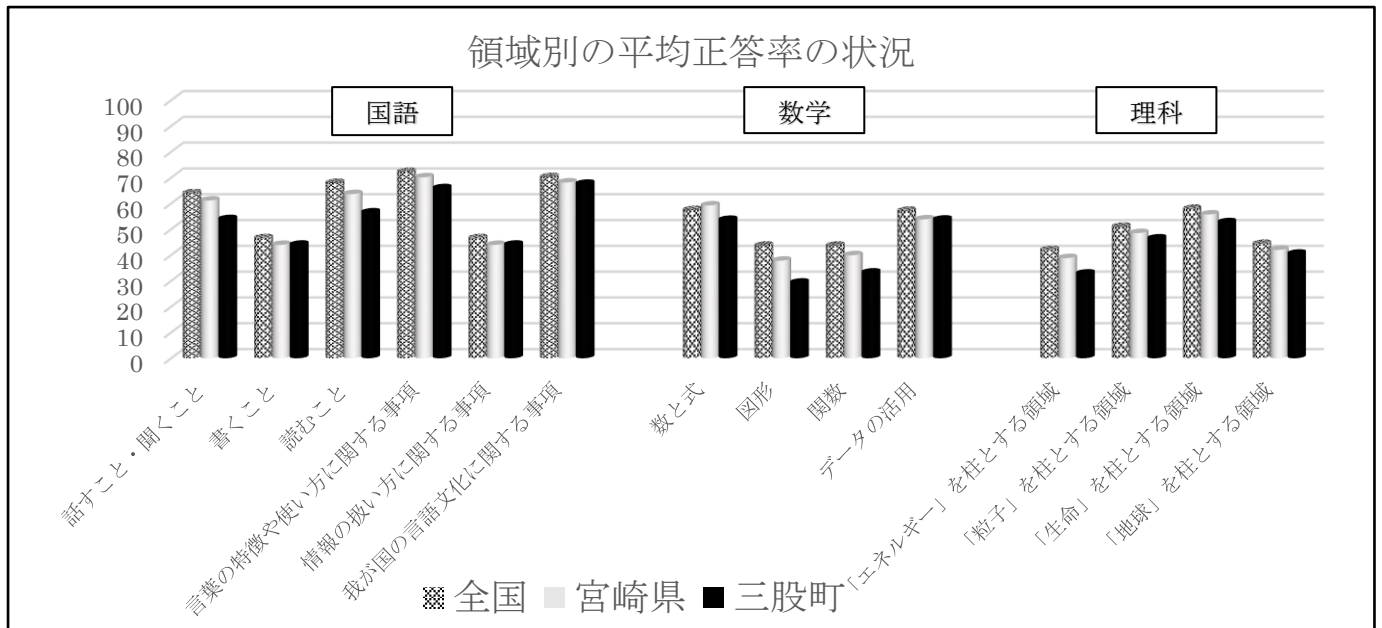
【生活習慣や学習環境等に関する主な項目】

- ・ 「同じくらいの時刻に起床する」の項目は、全国と比較して肯定的な回答（している・どちらかといえ
ばしている）をした児童の割合がほぼ同程度ですが、「同じくらいの時刻に就寝する」の項目について
は、やや低い傾向です。また、「朝食を毎日食べる」の項目については、全国と同程度です。
- ・ 「携帯電話等の使い方について、家族と約束したことを守っている」の項目は、全国より高い傾向で
す。
- ・ 「計画を立てて勉強する」の項目は、全国より高い傾向ですが、「休日の家庭学習の時間(量)」の項目
は、全国よりやや低い傾向です。
- ・ 「新聞を読む割合」は、全国よりやや低い傾向ですが、「読書の時間(量)」の項目は、全国と同程度
の傾向です。
- ・ 「地域の行事への参加」の項目は、全国とほぼ同程度の傾向です。



(2) 中学校

ア 教科に関する調査の結果



■ 3教科の平均正答率は、全国より低く、県よりやや低い結果です。

○ 国語の正答率については、全国より低く、県よりやや低い結果です。

- ・ 「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」は、全国及び県より相当低い。
- ・ 「書くこと」、「情報の扱い方」、「我が国の言語文化」は、全国とほぼ同程度で、県と同程度。
- ・ 「言葉の特徴や使い方」は、全国より低く、県よりやや低い。

○ 数学の正答率については、全国より相当低く、県より低い結果です。

- ・ 「数と式」は、全国よりやや低く、県より低い。
- ・ 「図形」は、全国及び県より相当低い。
- ・ 「関数」は、全国より相当低く、県より低い。
- ・ 「データの活用」は、全国よりやや低く、県と同程度。

○ 理科の正答率については、全国より低く、県よりやや低い結果です。

- ・ 「エネルギー」は、全国より相当低く、県より低い。
- ・ 「粒子」及び「地球」は、全国よりやや低く、県とほぼ同程度。
- ・ 「生命」は、全国より低く、県よりやや低い。

イ 生徒質問紙の結果

【生活習慣や学習環境等に関する主な項目】

- ・ 「同じくらいの時刻に起床する」及び「同じくらいの時刻に就寝する」、「朝食を毎日食べる」の項目では、全国と比較して肯定的な回答（している・どちらかといえばしている）をした生徒がほぼ同程度です。
- ・ 「携帯電話等の使い方について、家族と約束したことを守っている」の項目は、全国とほぼ同程度の傾向です。
- ・ 「計画を立てて勉強する」の項目は、全国より相当低い傾向です。
- ・ 「平日の家庭学習の時間（量）」の項目は、全国より相当低く、「休日の家庭学習の時間（量）」の項目は、全国よりやや低い傾向です。
- ・ 「新聞を読む割合」及び「読書の時間（量）」の項目は、全国と同程度です。
- ・ 「地域の行事への参加」の項目は、全国より相当低い傾向です。